

～ 最善の行動と信頼 ～

医療法人 同和会 千葉病院



【病院概要】

- 診療科
精神科・神経科・神経内科（要予約）・歯科（要予約）
- 院長
鈴木洋文
- 外来診療時間
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）
- 休日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
- 所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503
ホームページ: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp
- 敷地面積
6,638㎡
- 建物面積
11,026㎡
- 病床数
346床
- 施設基準等
 - ・（社）日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
 - ・（財）日本医療機能評価機構認定病院
 - ・精神科急性期治療病棟入院料1（55床）
 - ・精神科療養病棟入院料（291床）
 - ・精神科作業療法施設
 - ・精神科デイ・ケア施設
 - ・入院時食事療養（I）
 - ・栄養管理実施加算
 - ・診療録管理体制加算
 - ・臨床研修病院入院診療加算
 - ・精神保健福祉法措置指定病院（9床）
 - ・応急入院指定病院
 - ・医療観察法指定通院医療機関
 - ・医療観察法鑑定入院医療機関



千葉病院広報紙 2011. 初夏号（第33号） 発行者 医療法人同和会 千葉病院



あおぞら祭り会場遠景



千葉病院名物の焼きそば

あおぞら祭りのご案内

千葉病院初夏のイベント、あおぞら祭りを今年も開催します。初夏の青空のもと、ソーラン節演舞や和太鼓演奏、懐かしさ溢れる南京たますだれやフラダンス等をお楽しみください。毎年恒例となった千葉病院名物の無料焼きそばや地域支援活動グループによる出店もあります。今年6月4日開催となり虫歯予防デーにちなんで歯ミガキの無料相談を行いません。当院の歯科衛生士に相談ご希望の方はご愛用の歯ブラシと一緒にご相談に足を運んでみませんか？お待ちいただく間に先生（歯科医師）お得意のバルーンアートでお楽しみを☆

日時：6月4日（土）
会場：同和会千葉病院 お祭り広場

※雨天の場合、会場が変更になります

近隣の皆様には、音楽などでご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください



歯ミガキ無料相談（佐久間歯科衛生士）



作業所『こんぼーる』による販売

高根台メンタルクリニック

安心、そして安らぎのある暮らしを・・・



所長：赤川 和弘
診療科目：心療内科・精神科・神経科・内科・シルバーケア
診療時間：午前 9:00～12:00（受付11:30まで） 午後14:00～17:00（受付16:30まで）
※初診の方はご予約となります。
休日：火曜・日曜・祝祭日・年末年始
住所：船橋市高根台1-2-2 プラザ街2F（新京成高根公園駅より徒歩2分）
電話：047-468-6806 F A X : 047-468-6809
※在宅医療にも取り組んでいます。お気軽にご相談ください。

こころの健康クリニック津田沼

心の健康について一緒に考えましょう。私たちはこれまでの経験を生かして、皆様の身近なところで気軽に相談できる心のクリニックを目指しています。



所長：福井 進
診療科目：精神科・心療内科
診療時間：午前 9:30～12:00（受付11:30まで） 午後14:00～17:30（受付17:00まで）
休日：木曜・日曜・祝祭日・年末年始
住所：船橋市前原西2-13-13 大塚ビル4階（JR津田沼駅北口より徒歩2分）
電話：047-455-7300 ホームページ: http://www17.ocn.ne.jp/~mhct
当クリニックではご家族の方の相談に医師・スタッフが対応します。1人で悩まずに、お気軽にご相談ください。

神経内科は脳や脊髄、末梢神経、筋肉の病気を扱います。頭痛、目まい、脳梗塞などをはじめ多彩な神経疾患の症状に悩む多くの方にとって、とても身近な専門領域になります。

神経内科津田沼



所長：服部 孝道
診察医師：服部 孝道・栗原 照幸・水谷 智彦・湯浅 龍彦・神田 利政
診療科目：神経内科、脳ドック
診療時間：午前 9:00～12:00 午後14:00～17:00
休日：木曜・日曜・祝祭日・年末年始 ホームページ: shinkeinaika-tor.jp/index.html
住所：船橋市前原西2-14-15 神原ビル7階（JR津田沼駅北口より徒歩1分）
電話：047-470-0500 F A X : 047-470-0511

編集後記

当院の初夏のイベント、あおぞら祭りが近づいてきました。今年は昨年とは違った、新しい企画も盛り沢山で、皆様のご参加をお待ちしています。また、今号では、3月に起こった東日本大震災に対する医療支援の報告もさせていただきました。「看護活動の紹介」と併せてご覧ください。

発行：医療法人同和会 千葉病院
発行日：平成23年5月31日
住所：千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503
URL: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/

災害医療支援チームを派遣しました



3月11日に発生した東日本大震災による、被災地への医療支援活動として、日本精神科病院協会千葉県支部は宮城県気仙沼市の「光が丘保養園」へ支援チームを派遣することになりました。当院では、第一陣として、4月5日～11日の1週間、小松副院長はじめ4人の職員が、現地で医療支援活動を行いました。

(写真は支援チーム第一陣スタッフ。左から中村看護師、小松副院長、真田PSW、事務石島)

気仙沼から帰って、2週間がたちました。やっと今になって、あの1週間が冷静に振り返れるような気がします。帰ってきたばかりのときは、疲れているのに、気分が高揚している、というわけの分からない感覚でした。これはまずい、と休息をとりながらやっと平常の気分になれたのはここ最近です。とにかく、五感に訴えてくるもの、すべてが強烈だった、というのが感想です。見るもの、聞くもの、そして臭い・・・やはり「百聞は一見にしかず」といいますが、実際にいって感じることはまず「異様な臭い」でした。ただ、数日もすると、次第にそんな環境にも慣れが生じてきます。当地の病院内でどのように行動してよい、それも分かってくると、さも以前からいたように振舞っている錯覚さえ起こってきます。けれど少し気安くなって、職員の方と雑談した際、ふと「家族は大丈夫でしたか」などと尋ねようものなら、ふいに押し黙って、「叔母がね、大島(気仙沼の真正面に位置する島で甚大な津波の被害を受けた)にそのときにいてね、いまだに行方不明なんですよ」という返事が返ってきて、思わず「しまった!」と反省したりします。

当地のみなさんは、心の奥底にそれこそ取り返しのでない傷をもち、普段はそれを抑えながら(意識的にも無意識的にも)明るく振舞っているのだな、というのがよく分かりました。まさに『百見は一行にしかず』で、一時的に当地にいる我々と、「地震、そして津波」を体験してしまわれた当地の方々とは全く異なる心境にあると思われまます。千葉に帰ってきた今となっては、一刻も早い復旧を願って止みません。帰還当日、園長先生のご夫人が「また来てくださいね、ここは本当はこんなところではないんですよ。」といった言葉が忘れられません。また是非彼の地を訪問したい、と思います。私ども、4人が無事に帰れたこと(帰途の最中まで苦難は続きましたが)、本当に安堵しました。また同時に、出発の朝、派遣途中、そして帰還当日もずっと連絡をいただき、ご心配をおかけした、鈴木院長、そして千葉病院のスタッフの皆様にご心から感謝の意を表したいと思ひます。支援は一人では出来ません。これは絶対です! (小松尚也)

千葉病院Drによる医療コラム 第6回

「うつ」と「悲しみ」

千葉病院医師 浅香 琢也

うつ病は、やる気が出ない、とか、気分が落ち込む、といった症状で苦しくなってしまう病気です。しかし「やる気が出ない」「気分が落ち込む」といった悲しい気持ちは、どんな方にも経験のあることでしょう。そんなとき、ほとんどの方は病院で治療を受けるということをお考えにならないでしょう。それでも、多くの方は、いずれは悲しい気持ちも和らいで、また顔を上げて、歩みだして行かれる。

しかし、ときに治療が必要となる方がおいでです。その方の状態は、治療を要さない悲しみと、何が違うのでしょうか。

治療を要するような精神状態は、日常的な落ち込みや悲しみとは違うと考え、病的な抑うつ状態と呼びます。それは、悲しみ、絶望、憂鬱、無価値観にとらわれて、嫌で嫌でたまらない気持ちになることだと言われている。もたえるような、のしかかるような、逃れようとしても逃れられない苦痛、日常的な落ち込みとは質的・量的に全く異なる苦痛、とおっしゃる方も少なくありません。

以前は楽しめたり、やりがいを感じたり、心あたたまったりしたようなものにも、なにも感じられなくなり、かえって疲れたり、うるさく感じてしまう。そういう自分にショックを受けて、ひどい無力感や虚無感に陥り、厭世的になったりすることもあります。

このように、病的な抑うつ状態になると「どうしたら良いかわからない」という強い無力感を感じる方が多いようです。八方ふさがりで先に希望を見出すことが出来ない、という気分が続いて、全く変化しなくなってしまう。それが病的な抑うつ状態の典型的なものです。

しかし、例えば、大事な方が不慮に亡くなったりなど、本当にひどいことを体験された方などは、数日から数週間程度、上記のような状態を呈したとしても、自然なことかもしれません。病的な抑うつ状態が、自然な落ち込みと違う点の一つには、原因がはっきりしない場合が多いことがあります。原因やきっかけがはっきりしているように見える時でも、落ち込みの程度がそれに釣り合わず深過ぎるようだったり長過ぎるようだったりすると言われます。

「原因に釣り合わず落ち込みが深すぎたり長過ぎたり」と書きましたが、では「釣り合うかどうかの深さや長さ」は決まっているのでしょうか。現実には様々な状況や人間関係があり「ちょうどよい」の判断はかなり難しい場合があります。

結局、抑うつ状態の診断基準としては、食事や睡眠、仕事などの日常生活を送ることに支障があるほどの落ち込みが、ほとんど毎日、2週間以上続いていること、といった量的な基準が示されています。当院でも、原則的にはそれに従って治療を行なっています。

ここは千葉病院の活動を紹介するコーナーです

こんにちは 千葉病院の看護活動です

高橋信子 (看護部長)

今回は千葉病院の看護活動を紹介します。看護部は、どの病院でも一番人数を多く抱えている部署です。当院でも約250名いる職員の60%を占めています。そのなかでも95%の看護職員が、24時間・365日交代勤務で入院されている患者様の生活をサポートしております。後の5%の人達で、外来や、地域でくらししている患者様のサポートとしての訪問・デイケアサービス部門で働いております。



外来です：受付でお待ちしております。



訪問です：これからご自宅へ伺います。



病棟です：早く良くなっていただけるように、これからお薬をお持ちするところです



デイケアです：笑顔があふれるスタッフが待っています

心のケアと看護

大震災は予告なく起こると言われていますが、東日本大震災はまさにその言葉通りの災害となりました。今現在日本全体、日本人全員が大きな衝撃と恐怖・不安を抱えながらの生活です。まして被災地の方々は筆舌も及ばない状況と推察致します。1日も早い復興を願わずにはられません。

ところで今回の災害では、皆様や周りの方々も直接的・間接的に心の不安定な状況になっているのではないのでしょうか？そこで私達看護部は、人と人の繋がりのなかで「いたわり」「労い」「感謝」し「見守り」「手当」する看護の原型に共通している互いに声をかけ合うことの大切さ・・・「大丈夫ですか」「大丈夫よ」

これらを大切にしたい関わりが出来るよう、もう一度原点に立ち戻って行きたいと思ひます。皆様、お互いに声をかけ合ひましょう！